

WELCOME

2015

INTERNSHIP REPORT

社会や企業の実情を知り、自らの将来を考える
機会創出を目的としたインターンシップ。
弊社で初となるこの取り組みを、
2015年3月25日(水)～31日(火)までの
約1週間、大阪本社で実施しました。



TMコミュニケーションズ、インターン1期生

参加してくれたのは神戸学院大学に在学中の中野隼輔君(20歳)。
「あるショッピングセンター(SC)からイベントの依頼が来ました。
企画を考えてください」という研修内容のもと、一生懸命取り組んでくれました。



1WEEK PROGRAM

インターンシップ 実施内容

「SCで開催するイベントの企画提案」を主軸に、
架空のSCからのオファーに対する企画書・見積書の作成と社内プレゼンテーションを実施。
また、企画書を作成する際の考え方である「目的・方針・手法の整理」をもとに、
中野君が大学で所属するイベントサークルの持続・発展方法も検討しました。

1DAY

研修スタート

・研修内容の説明 ・施設特徴(商圏、施設コンセプトなど)の説明 ・オファーの条件整理
・企画作成フローの説明 ・同規模のSCの現地視察 ・イベントのアイデア出し(宿題)

どきどきの
初出社

2DAY

企画の具体化

・宿題の発表 ・企画の具体化ミーティング① ・まとめ資料作成 ※社会人マナー研修

ミーティング
へ参加!

3DAY

企画書作成、プレゼンツールの依頼

・企画の具体化ミーティング② ・イベント告知ポスターの作成ミーティング
・第1稿企画書作成 ・サークル活動ミーティング①

4DAY

実際のイベント体験

・イベント現場体験(神戸市にあるSCにて、ワークショップイベントの立ち会い)

お客様と
ふれあい

5DAY

企画の最終調整

・イベント現場報告書の作成 ・見積書の作成
・イベント告知ポスターのデザイン確認、校正 ・企画書の修正 ・サークル活動ミーティング②

6DAY

プレゼンテーション

・企画書の修正 ・プレゼンテーション練習 ・プレゼンテーション本番

わくわくの
プレゼン

GOAL



INTERN REPORT



中野君の声

TM担当者



体験の中、印象に残ったこと

同学年の友人がインターンや留学を通じて社会を知っていくなか「自分も社会を経験してみたい」と思い、受け入れのお願いをしたのがTMコミュニケーションズでした。1週間という短い期間でしたが、この研修を通じて私が感じたことは、『プロの仕事』の素晴らしさです。自分は日頃、「何のためにしなければならぬのか?」など、物事の本質(目的)を見極めることなく行動に移しがちですが、TMCの企画はすべて「何のために?」から始まりました。また考えたことを具現化するため、それぞれの専門家が担当して力を発揮する点なども、これまでに経験したことのないことです。研修で得たことは、今後の就職活動や生活に対して生かしていきます。

インターン期間を振り返って

「仕事について、何を教えたらいのだから?」。
今回のインターン研修は当社として初めての試みで戸惑いもありましたが、無事に予定していたプログラムを終了することができました。それは中野君のまじめな研修態度があってこそその成果です。挨拶など礼儀作法がしっかりとできており、想定よりもスムーズに研修を進めることができました。実際の仕事の現場は学校の授業とは異なる部分が多くあります。ですが明確な目的意識と人として必要なマナーさえ身につけておけば、社会に出ても必ず役に立つと思います。短い期間でしたが、この研修が中野君の将来にとって少しでも良い影響になれば幸いです。